

シードコムス 通信



Vol.2



会社のこと、スタッフの想い、商品のことなどをお届けします。



「電話の日」は緊張します。

「今日はお客さまの電話対応の日」と思うと緊張します。
「コールセンターの専門スタッフが対応しているんじゃないの？」
と思った方もいるのでは。

弊社には、開発、製造、梱包、web販促のチームがありますが、電話対応はweb販促事業部のスタッフ10名が交代で対応しています。web販促の仕事は、楽天市場やPayPayモールなどそれぞれ担当モールのセール企画を考えたり、商品説明の原稿を作成していますが、お客さま対応はモールを越えて、当番のスタッフが当たっています。

「コールセンターだと、担当者につなげてもらったり、回答に時間がかかる」そんな経験はありませんか？ 弊社ではスタッフ同士で常に情報を交換しているので、別のスタッフが対応してもお応えできるのが強みです。
例えば、「楽天でこの商品のセールはいつから？」「PayPayモールで注文したんだけど配送状況を教えてほしい」といったお問い合わせがあっても、すぐに対応させていただいております。

そうそう、電話の日は緊張するという話ですが、問い合わせだけでなく、特にお叱りのときは緊張します。新人のころは電話に出るのが怖かったのを覚えています。先輩の対応から学ぶうちに今では、「まずは話を聞く」ことを心がけ冷静に対応できるようになり、少しは成長できたかなと思っています。

もちろんお叱りの言葉だけでなく、「飲んで元気になったよ、ありがとうね」という言葉を直接お聞きできるのも電話対応ならではの特典です。いつも皆さんのお電話から元気をもらっています。ありがとうございます。

web販促事業部：東江





あなたは飲む派、食べる派、どっち？

シードコムスには、健康食品の定番の【プラセンタ入り 輝きの青汁】という商品があり、野菜不足を感じている方などに人気を得ており、オープン当初からのロングセラー商品となっています。ただ、シードコムスはそれで満足することなく、青汁のペーストタイプの【青ジュレ】も販売しております。

何故、青汁があるのに青ジュレを製品化したのか？ 青汁は水に溶かして飲む顆粒タイプで、コップなどが必要です。そこで、そのまま片手で食べられる青汁を作ろうと思ったのがきっかけです。

小腹が空いたときなどオフィスで気軽に摂れて、甘味があるのでお子さんにも好んで食べてもらえるのも特徴のひとつです。シードコムススタッフも、野菜不足を感じた時、子どもにおやつ替わりとして食べさせているようです。

シーンに合わせて「輝きの青汁」と「青ジュレ」を、ぜひ、お試しください。



沖縄ありんくりん

※ありんくりんは沖縄方言であれもれこもの意味

会話から聞こえてくる「ふん」の正体!?

沖縄の子どもだけなのか、一生懸命話そうとすると会話の中に「ふん」という言葉が出てきます。例えば…

「あのさー、ふん。えっとさー、ふん」という感じでリズムをとるように出てきます。でもこれ、本人はまったく言っていることに気づいていません。

子どものころ、県外出身の先生に指摘されて、初めて気づいたのが小3の夏。友だちが話していると「さっきから、ふん、って言ってるけど。なにそれ？」と先生。友だちは「言っていないよ？」と本人すら気づいていませんでした。となりで聞いていた私もまったく気づいていませんでした。

大人になるにつれて自然と言わなくなるのか、指摘されて自力で直しているのか、現代まで受け継がれる謎の「ふん」。

先日親戚の子ども(5歳)と話していたら、しっかり「ふん」言っていました。可愛かったのですが指摘できませんでした。この「ふん」もいつか聞けなくなるのか、と思うと少し寂しいな～と感じる私でした。



【発行元】

株式会社エフ琉球 担当：長濱諒 池菜那美（シードコムス通信 編集室）
〒900-0012 沖縄県那覇市泊 2-1-21 尚平ビル 1F
☎098-963-9076 URL: <https://www.seedcoms.net/>

